第7回キャンパスベンチャー

奨励賞

日本のUser Experienceに革命を起こす「Advoice」

国際教養大学
高下 凌
前山 健大
依田 峻
佐藤 蓮

高下 凌さん

消費者のダメだし募集

さまざまな商品が日々開発されていく今日、一つのサイトでさまざまな企業に気軽にダメ出しができるサイトが必要なのではないか。今回、私たちが提案するビジネスプラン「Advoice」とは、企業と消費者を仲介するダメだし募集サイトである。消費者はサイト上に企業の商品に対する改善点を書き込み、企業はその中で良いと判断した意見を採用する。消費者はアイデアが採用されると企業から採用料がもらえ、懸賞感覚で楽しめるであろう。Advoiceは企業と正式に契約を結ぶため、消費者は新商品やサンプルの提供、工場招待、実際の開発プロセス参加など、アイデアを書き込むことによる特典は採用料のみにとどまらない。現在、我々はこの事業化に向けて協力者を募集している。

奨励賞

フェアトレード製品市場の開拓に向けたネットワーク作り

弘前大学
岡本 元聖

岡本 元聖さん

FTの定着をサポート

近年、途上国からの商品を適正な価格で輸入し、日本国内で販売・消費することで、途上国の生産者が労働に見合った報酬を得られるようにするフェアトレード（FT）商品の販売が日本で進んでいる。スーパーマーケットに行けば、FTのチョコレートやコーヒー等が販売されているのも目にする。

しかし、FT商品に対する日本の消費者の認知度はまだまだ低く、欧米と比べるとほとんど定着していないのが現状である。

そこで今回、FTの定着をサポートするFTネットワークというNPO組織を提案した。提案の概要としては、このNPOによって、FTに関連するボランティアや会社、大学のサークル、官公庁などの連携を促進させるとともに、消費者に対する積極的な情報発信を行っていくことで、FTを定着させようというものである。

奨励賞

UV―A照射環境制御を用いた植物の栽培と光照射乾燥方法の複合化

八戸工業大学
長内 崇拡
佐藤 隼輝
平野 勉央

長内 崇拡さん

植物の成長を加速

現在の植物工場では、光合成を考えて赤色と青色の光、あるいは植物育成ランプを照射して栽培している。しかし、生産コスト削減と高付加価値化が課題となっている。

本プランの特徴は栽培と乾燥に用いる光源に人工太陽光ランプの他に紫外線（UV―A）照射を加えることである。栽培時に紫外線照射で生育的ストレスを植物に与え、機能性成分や成長速度を増大させ、通常栽培に比べて出荷までの日数を減らし品質を維持できる。

乾燥工程にも紫外線照射を行うことでうまみ成分を増大させ、付加価値を高める。さらに、乾燥装置や低温貯蔵装置を栽培装置に隣接させて複合化させることにより、設置面積の縮小化や熱エネルギーの再利用を可能にし、加工などの委託・移送コストを削減させ省エネルギーに貢献することができる。

審査員の前でプランを力説

CVG東北

努力賞

Find Your Treasure!

国際教養大学
長田 紘一郎
嶋津 友貴
柳沢 隼人

長田 紘一郎さん

近隣でオークション

現在、日本では自分のいらなくなったモノを他人に売るという考えを持っている人は少ない。しかし、いらなくなったモノがあり、近所の人がそれを必要としている時、地域で売買することほど効率的なことはない。ネットユーザー、スマートフォンユーザーが増え続けている今、隣人とモノの売買ができる超効率的な地域型手渡し売買サービスができるのではないか。そんな思いからできたサービスが「FYT」だ。

現在は国際教養大学専用の手渡しオークションサイトとしてサービスを開始している。将来的には、気軽に出品することができ、家が近い人、同じコミュニティー内の人とモノの売買が出来る全国版スマートフォンアプリを作り、サービスを展開していく予定だ。一人ひとりのポケットに店がある感覚で、誰でも、いつでも、どこでもモノを売買できる世界を目指す。

努力賞

かもしれない倉庫

会津大学短期大学部
渡辺 史
安倍 彩香
安田 千裕
渡部 好美

渡辺 史さん

家財道具をレンタル

本プランは、耐用年数の長い家財道具の保管、およびそれらの利用希望者へのレンタル・販売サービスを提供する。家電などを保管するか処分するか迷っている人へ保管場所を提供するとともに、購入かレンタルかを迷っている人への選択肢を提供する。

本プランの特徴は、①利用期間が限定的である学生や単身赴任者を主たるターゲットとし、②利用期間のみの経済的負担による低価格での利用を可能にし、③再度利用するかもしれないし利用しないかもしれないという不確実性をサービス内容に組み入れたことだ。また、④保管家財のレンタルによるレンタル料を受け取れ、⑤倉庫に廃校を利用することである。

本プランでは、家財道具のシェアを無駄なく低価格で利用でき、また廃校の有効活用を実現できることが期待できる。

審査講評

CVG東北審査委員会委員長　原田 晃

東北から世界に通用するアイディアを

キャンパスベンチャーグランプリ東北は今回で7回目になりました。東北地区の学生の皆さんの2011年は、東日本大震災に大きく影響されたことと思います。その影響のためか応募件数は昨年より減ってしまいましたが、それでも5県の10校から49件の応募がありました。学んでいる大学等自体が被災した学生諸君も多かったでしょうし、復旧・復興のためにボランティア活動等に励んだ人も多かったことと思います。例年と違う状況の中でも多くの学生諸君がキャンパスベンチャーグランプリ東北に応募されたことに、敬意を表するとともに感謝する次第です。

49件の応募提案から書類審査で13件を選びヒアリングによる二次審査を行って、最優秀賞1件、特別賞2件、奨励賞3件、努力賞2件を与えることに決定致しました。近年のスマートフォンやタブレットPCの普及と東日本大震災を反映した提案が多く見られました。最優秀賞は、東北大学の加納学君らが提案した「デジタルサイネージと顔認識機能を活用した新しい広告手法」に授与することに致しました。最新のIT技術を使い、化粧室などの公共にある鏡を広告の媒体にするという提案で、人それぞれに合った広告を提供しようとする斬新なアイディアが高く評価されました。様々な考えを持った不特定多数の人々を対象にすることになるでしょうから、受け手に不快感を与えることのないきめ細やかなコンテンツ作りがこれからの鍵になるように感じました。特別賞は、位置情報をベースに様々な情報を提供しようとするソーシャルネットワークサービスの提案と、ペットの写真をネット上で共有し人の心の癒しに役立てようとする提案の2件に授与することに致しました。両方とも近年急速に広がったSNSを活用しながら、震災後の我々の生活に役立てようという意欲を感じることができました。このほかにもICT技術を駆使した提案が多くありましたが、既存の技術、アイディアを単に組み合わせただけと思われる提案もあったことは多少不満を覚えました。また、「ものづくり」に関する提案が年々減ってきていることも残念に思っていますが、人口光に工夫を加えた植物工場の提案のような東北地域の復興に活かせる提案もあり、頼もしさも感ずることができました。

今春卒業予定の大学生の就職内定率が過去2番目の低さであることなど、今、学生諸君を取り巻く環境はとても厳しくなっています。一方で留学生が積極的に採用されているなど、企業の「グローカル化」に適した人材が求められています。キャンパスベンチャーグランプリ東北に応募した諸君にはアイディアをよく練り、それを人にわかるように表現することにとても意欲的な姿勢を感じることができ、期待できる人材はまだまだいると思うことができました。今回の大震災はとても悲劇的な出来事でしたが、これからの東北および日本のあり方を見直す大きなきっかけになっています。今後このキャンパスベンチャーグランプリ東北の活動の中から、東北の地域に根ざしながら世界水準の事業が行えるスケールの大きな提案が出てくることを期待しています。

（産業技術総合研究所東北センター所長）

CVG東北審査委員会　（敬称略）

委員長
原田　晃
（産業技術総合研究所東北センター所長）

委　員
寺家　克昌
（東北経済産業局地域経済部長）
鈴木　康夫
（宮城県産業技術総合センター所長）
庄司　雄一
（東北経済連合会常務理事）
管野　繁
（みやぎ工業界専務理事）
小林　邦英
（宮城産業人クラブ副会長）
石上　明男
（日刊工業新聞社東京支社長）

アドバイザー
佐藤　薫
（東北経済産業局地域経済部特許室長）

新規会員募集中!!
産業人クラブは経営者の意志決定に欠くことのできない情報とチャンスをもたらします！
●地域産業経済発展のために　●経営・技術情報の収集の場に
●異業種交流の場に

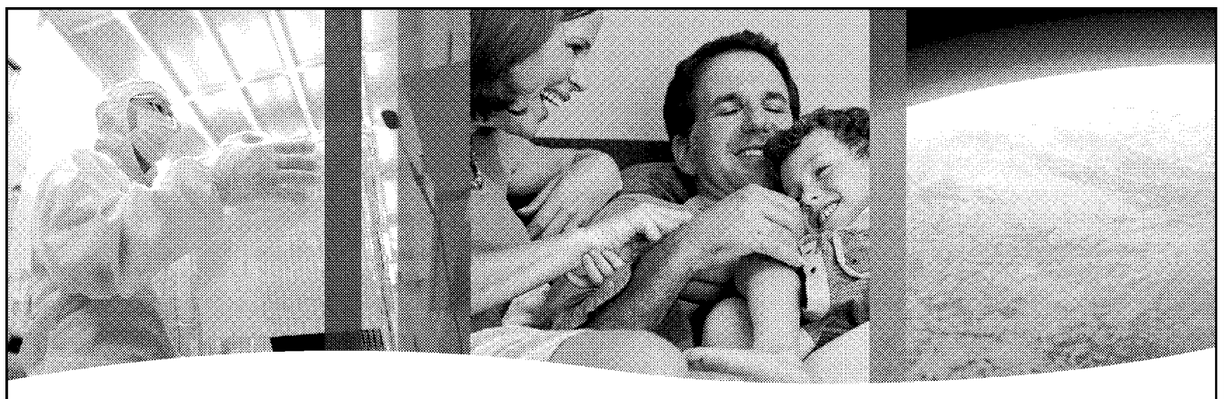
いわき産業人クラブ
会長 菅　榮藏
〒960-8068 福島市太田町8-8-203
（日刊工業新聞社 福島支局内）
TEL024(573)6105 FAX024(573)6106

福島産業人クラブ
会長 立石吉識
〒960-8068 福島市太田町8-8-203
（日刊工業新聞社 福島支局内）
TEL024(573)6105 FAX024(573)6106

山形産業人クラブ
会長 松村英一
〒990-0043 山形市本町2-1-2
（日刊工業新聞社 山形支局内）
TEL023(631)8932 FAX023(631)8797

宮城産業人クラブ
会長 工藤治夫
〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-17-18
（日刊工業新聞社 仙台総局内）
TEL022(225)8734 FAX022(225)8736

お客さまからのご要望にお応えいたします。
わたしたちユアテックは、総合設備エンジニアリング企業として、
お客さまが求めている心ゆたかな生活の実現に向けて、
電気、空調・給排水、情報通信、土木・建築、
リニューアル
分野において
安全で快適な環境づくりを
お手伝いいたします。
本　社／仙台市宮城野区榴岡4丁目1-1　〒983-8622　TEL.022-296-2111
東京支部／東京都台東区東上野2-18-10　〒110-0015　TEL.03-5807-6200
支　社／青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島・新潟・北海道・横浜・大阪
総合設備エンジニアリング企業
Yurtec
株式会社 ユアテック
http://www.yurtec.co.jp/


半導体製造装置の技術が、夢のある未来社会をささえる。
Beyond Imagination.
TOKYO ELECTRON
東京エレクトロン株式会社
50 Years
東京エレクトロンは2012年11月11日に創立50年目を迎えます。
www.tel.co.jp